※令和４年度以降入学生用

学校番号	3029

令和８年度　公共演習

教科	公民	科目	（学）公共演習	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	新版　公共（数研出版）１年次の教科書を継続使用						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次に学習した公共を共通テスト前に再確認する。
政経選択者は倫理分野を、倫理選択者は政経分野をしっかりと復習しましょう。知識を振り返るとともに、誤答分析が大切です。間違えたところを見直しましょう。

2　学習の到達目標

１年次に履修した科目「公共」の内容の問題演習等を行うことで知識・技能の定着を図り、現代の社会を多角的に見ることにより、より深い理解を得ることにより思考・判断・表現の力を養い、誤答分析に取り組むことにより主体的に学習に取り組む態度を養い、高い学力を身につけることをめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	問題演習により、現代の諸課題を考察するための概念や理論について理解する知識や、資料から情報を適切かつ効果的に読み取る技能の定着を図る。	問題になっている諸課題の背景を事実を基に多面的･多角的に考察し、公正に判断する力や、意見を表現する力を養う。	問題に関係する実際社会の諸問題について考え､現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や､公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚などを深め、問題に積極的に取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期中間まで	全範囲	問題演習	a:分野間を関連付けることができるよう､総合的な知識の習得と応用力の養成を目指す。 b:分野間を関連付けることができるよう､総合的な知識の習得と応用力の養成を目指す。 c:誤答分析など主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題

※令和４年度以降入学生用

後期期末まで	全範囲	問題演習	a:分野間を関連付けることができるよう、総合的な知識の習得と応用力の養成を目指す。 b:分野間を関連付けることができるよう、総合的な知識の習得と応用力の養成を目指す。 ｃ:誤答分析など主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度